新任職員紹介

伊丹　正美
（ひまわり園新園長）
４月から勤務し、子ども達の笑顔で日々パワーと元気をもらっています。子ども達と共に楽しい活動を心がけていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

車塚　里穂子
（ ひまわり園 ）
分からないことがたくさんありますが、毎日笑顔を絶やさずに頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

今野　直子
（ あのねの森 ）
毎日笑顔で楽しく過ごしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

渡部　龍樹
（ あのねの森 ）
はじめまして。まだまだ未熟ではありますが、精一杯頑張らせて頂きたいと思います。

上田　美香
（ こども相談支援つくしんぼ ）
元気で大きな１年生です。よろしくお願いします。

菅原　まき子
（ さわおとの森くるみ ）
新しい出会いに毎日とても楽しいです。どうぞよろしくお願いします。

佐々木　みのり
（ さわおとの森くるみ ）
毎日が新しい発見です。これからも元気に楽しく活動していけたらと思います。よろしくお願いします。

相澤　順一
（ さわおとの森わのみ ）
以前は児童館、幼稚園で勤務し、この６月からわのみの一員になりました。毎日元気いっぱいに頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

神山　恭彩
（ さわおとの森わのみ ）
プロの生活支援員になる為に日々、技術を吸収できればと思っています。どうぞこれから宜しくお願い致します。

森　美恵子
（ さわおとの森調理員 ）
こちらのスタッフメンバーの仕事振りには、感銘！何事にも一生懸命真面目です。だから私も炊事担当続けようと思っています。

ミッキーマウス・ミニーマウス 来園 !!

2012 年６月、震災から１年が過ぎたころ、生活環境も少しずつ落ち着きを取戻し始めましたが、子ども達・保護者の皆さんから、余震が起きるたびに震災のことを思い出すとの声を聴いたり、不安な表情や姿を近くで見ていて・・・「あっ！ひらめいた！」子ども達、保護者の皆さんが、ほんのひと時でも喜び、笑顔で楽しめる時間をつくってあげたい・・・。そんな思いから、勇気を出してミッキーマウスに「子ども達に会いに来てください」と、お手紙を書いた事がきっかけでした。

そしたらなんと！　５月 28 日に東京ディズニーリゾートから　アンバサダー・ミッキーマウス・ミニーマウスが、皆さんに会いに来てくれました。「わぁ～！(笑)」。あの歓声を聞いたとき、勇気を出し手紙を書いてよかった～と同時に皆さんのキラキラした笑顔がとても印象的で、嬉しい思いでいっぱい・・・３事業所総勢(利用児・者・職員含め)約 90 名近い方々が触れ合う事ができました。

ミッキーマウス・ミニーマウスから「楽しい夢の時間を一緒に過ごす事ができて嬉しかったよ！皆さんに伝えてね！」とメッセージを受けてきました。この場をおかりして、お伝えさせていただきます。夢の国から魔法の力で、また会いに来てくれるといいですね。

広報 さわおとのもり

平成２５年７月　**第１２号**
発　　行：特定非営利活動法人さわおとの森
発行責任者：理事長　楡 木 正 俊
〒981-0123　宮城郡利府町沢乙字欠下東 18 番２
Tel：022(767)4338　　Fax：022(767)4347
ホームページアドレス：　http://sawaoto.jp

会員の皆様、保護者の皆様、関係各位の皆様には日頃よりご理解ご支援を賜りまして大変感謝申し上げます。法人さわおとの森も皆様のおかげで順調に運営されております。

去る５月 25 日に法人通常総会が開催されましたので、ご報告させていただきます。

平成 24 年度の事業報告、活動決算報告、平成２５年度の事業計画(案)、活動予算(案)について、満場一致でご承認いただきました。また、今後の計画として、黒川地区から当園をご利用している児童の保護者からの強い要請があり、富谷町の土地を無償貸与していただくことになりました。このことにより、黒川地域を中心とした児童発達支援センターを平成２７年４月開所に向け施設整備計画(案)もご承認いただきました。役員改選では法人監事１名が退任に伴い、この３月にご退職された塩竈市ひまわり園元園長板橋敏子氏が法人監事としてご承認されました。

以上総会のご報告をさせていただきました。

今後の課題としては現在、定員１５名の生活介護も定員いっぱいとなり、要請に応じた受け入れが困難になりつつあります。また、障害児支援利用計画（介護保険のケアプランに相当）の作成は国の新規事業でもあり、各関係機関とも連携を密にしながら軌道に乗せていく必要があります。それにはスタッフ一丸となり、ご利用者を第一と考え取り組んでまいる所存ですが、皆様方のなお一層のご理解とご支援が欠かせませんので、宜しくお願い申し上げます。

～　理事長　楡木 正俊　～

各事業の主な行事計画 ※ 発行月より

多機能サポートランドさわおとの森

児童発達支援どんぐりクラブ

- ７月　先輩ママとのお茶会
- ９月　秋の遠足
- １０月 父親参観＆お母さんの勉強会、秋祭りに参加
- １１月　リンゴ狩り・七五三
- １２月　クリスマス会
- ２月　父親参観＆お父さんの勉強会、文集つくり
- ３月　ひな祭り、お別れ会

放課後等デイサービスくるみクラブ

- ７月　夏の遠足
- ８月　七夕会
- ９月　お月見会
- １０月　ミニ運動会
- １１月　焼き芋会
- １２月　クリスマス会
- １月　初詣
- ２月　豆まき会
- ３月　春の遠足

生活介護わのみ

- ７月　プール／海水浴
- ８月　仙台七夕見学
- ９月　バーベキュー
- １０月　芋煮会
- １１月　秋の日帰り遠足
- １２月　クリスマス会／忘年会
- １月　新年餅つき大会
- ２月　豆まき会
- ３月　お楽しみ会

さわおとの森 秋まつり
10 月 27 日 10:00～14:00

塩竈市ひまわり園

児童発達支援

- ７月　星まつり
- ９月　運動会
- １０月 芋煮会・父親参観 秋祭りに参加
- １１月 七五三参り
- １２月 クリスマス会
- １月　新年会
- ２月　豆まき会
- ３月　ひな祭り、お別れ会

放課後等デイサービス

- ７月　あのねの森との交流
- ８月　水遊び・流し素麺
- ９月　お月見会
- １０月　ハロウィン制作
- １１月　焼き芋会
- １２月　クリスマス会
- １月　正月あそび
- ２月　豆まき会
- ３月　ひな祭り

発達支援ランドあのねの森

児童発達支援

- ７月　七夕まつり・バーベキュー
- ８月　川遊び
- ９月　秋の遠足・祖父母参観
- １０月　芋煮会・秋祭りに参加
- １１月 七五三参り・お父さん参観
- １２月 クリスマス会
- １月　初詣
- ２月　節分
- ３月　ひな祭り、お別れ会

放課後等デイサービス

- ７月　ひまわり園との交流
- ８月　遠足
- ９月　ミニ運動会
- １０月　ハイキング
- １１月　くるみクラブとの交流
- １２月　クリスマス会
- １月　初詣
- ２月　節分
- ３月　電車体験

『幸せの黄色いレシートキャンペーン』に参加

イオン利府店にて、生活介護「わのみ」のご利用者・放課後等デイサービス「くるみクラブ」のご利用者とさわおとの森スタッフで、黄色いレシート投稿のご協力を呼びかける店頭活動に行ってまいりました。

この度も皆様のご協力があり、たくさんのレシート投稿をしていただきました。おかげさまで楽しく活動できるような品々を購入することができ、日々の活動の中でみんなの笑顔や笑い声が増えたように思います。ご協力どうもありがとうございました。

毎月１１日にイオン利府店にて黄色いレシートキャンペーンが行われておりますので、お買い物される機会がありましたら黄色いレシートのご投稿にご協力お願いいたします。

こども相談支援　つくしんぼ

平成２５年４月　開所しました

この度、さわおとの森内にて「指定障害児・特定相談支援事業」を開始しました。

この相談支援事業とは、障がいを持った児童やご家族の希望や思い、現在の状況に配慮して、福祉、医療、保健、教育等の総合的な観点から、地域での自立した生活を支えるためにそのひとの生活全般の計画を作成してサービスにつなぎます。この計画を「障害児支援利用計画」といって、介護保険のケアプランに相当します。尚、計画作成後には、サービス利用状況の確認・見直し（モニタリング）を定期的に行い、継続して総合的に支援を展開してまいります。ぴちぴち（?）の女性スタッフ３人で頑張ってまいります。

また、さわおとの森で始まった「保育所等訪問支援のびっこ相談」も担当することになりました。

〈開業日〉月曜日～金曜日　９：００～１７：００

〈休業日〉土・日曜日、祝日、お盆休み、年末年始、その他臨時休業日等あり

【職員体制】

管理者（兼務）	常勤１名
相談支援専門員	常勤１名　　非常勤１名
相談員	常勤１名（臨床発達心理士）
専門職（兼務）	臨床発達心理士　言語聴覚士 作業療法士　臨床心理士 ※専門職の職員は各事業所へ赴き相談を受けています。

富谷町へ児童発達支援センターを設置

児童発達支援センターとは、既存の知的障害児通園施設が平成２４年４月の改正児童福祉法にて平成２６年度中まで移行するほか、新たに設置することとなります。このセンターでは、今までの未就学障がい児の通園での指導・訓練等を行うことと並行して、新たに一人の障がい児のトータル的な支援計画を作成しサービスにつなぐ「障害児相談支援」と（上記つくしんぼ参照）、障がい児が通う地域の保育所や幼稚園等へセンター職員が訪問して専門的なアドバイスなどの支援を行いそこの支援技術の向上を図る「保育所等訪問支援」を実施し、地域の中核的な療育・発達支援を行う施設であります。

さわおとの森とあのねの森の未就学児は、黒川郡から利用する方がとても多く、その保護者からの要望と富谷町のニーズが合い、富谷町赤石台７丁目の土地を無償貸与して頂くことが今年２月に決まり、平成２７年４月を目途に黒川郡内を対象とした児童発達支援センターを設置するための準備を現在進めております。

当法人では、より専門的な支援体制を行うために心理職や作業療法士や言語聴覚士等の専門職を配置しており、また、児童発達支援センターで必ず実施しなければならない保育所等訪問支援や障害児相談支援ももう始めており、この機能を生かして黒川郡内の充実した障がい児支援を展開していきたいと考えております。

発達支援ランドあのねの森

平成 22 年５月にスタートしたあのねの森も４年目を迎えました。この３年間、大震災にみまわれながらも地域の皆様や家主さんのご理解とご協力の下、ご利用のご家族の皆様方には常に温かいご支援をいただきながらここまで育てていただいた事に感謝申し上げます。

未就学は母子通園であり、学童の子ども達は年々身体が大きくなり、部屋のスペースが限られている中での活動は大変なこともありますが、あのねの森ならではの環境が集中力や見る力、聞く力など子ども達の持っている力がより一層引き出され、たくさんの成長を見せてくれていると実感しています。

「あのねの森に来るのが楽しい！」そう言っていただける言葉に甘んじることなく子ども達の心に寄り添い、保護者の皆様の声に耳を傾け、選ばれる事業所作りに日々取り組んでいきたいと思いながら活動を続けております。

～　あのねの森　園長　山田 裕子　～

児童発達支援（未就学児）～あのねキッズ～

「おはようございます！！」　朝、笑顔とともに元気にあいさつをしてくれるママと子どもたち。初めのうちは弱々しくママの後ろに隠れていた子どもたちが日に日にたくましくなっていく様子からは、本当に目が離せません。今年度から新しく入ったお友だちも、きっと先輩たちのように嬉しい変化をたくさん見せてくれることでしょう。

誕生会、遠足、三園交流会など、イベントの時には、普段の療育活動とはちょっと違った姿を見せてくれました。青空の下や大勢が集まる場所、先生が変身してしまうサプライズにも、ちょっとずつ慣れてきたようです。

臨床発達心理士の純子先生を迎えて行うママミーティング。わが子が先生やお友だちと楽しく遊べる時間が長くなってきたことで、ママたちも安心して勉強会や情報交換を行うことができます。

放課後等デイサービス（学童）

学校に通っている子ども達が放課後等に過ごす場として学校まで迎えに行き、あのねの森を利用してもらっています。

あのねの森での活動ではクッキングや制作活動、ゲームなどをして遊んだり、家庭菜園もしました。また、外出活動もしており、公共施設の利用や公園などで元気に遊んで来たり、電車体験や買い物体験などの社会体験をしたりもしています。

毎週違った活動を行っていて職員の創意工夫で子ども達に楽しんでもらっています。

多機能サポートランドさわおとの森

さわおとの森は、７ 年前に職員８名から始まったのが、現在は３４名のほか相談事業も含めると３７名の大所帯になりました。事業内容も多義で利用定員も大分多くなり、狭い空間を効率的で快適に利用してもらうよう日々工夫しながら、職員も毎日奮闘しております。今後もより良いサービスを目指して頑張ってまいります。

～　さわおとの森　園長　高橋 繁夫　～

児童発達支援　どんぐり　25年度は「このみ棟」で楽しい活動を！

今年から、以前に生活介護「わのみ」で使っていた建物を、午前中はどんぐりクラブ、午後はくるみクラブで使用し、名前も“このみ棟”と命名し、今までの本棟の方は日中「わのみ」で使用することになりました。今まで以上に充実した活動を展開できればと思っております。引っ越しに際しましては、皆さんにご不便をおかけしましたが、2～3 月には、環境の変化に敏感なお子さん達がスムーズに移行できるように何度か練習を行なうことにより、始めは慣れずに泣いていたお子さんたちも、そこがいつもと同じような楽しい活動が展開される所だとわかってくると、スムーズに移動できるようになりました。今では、みんなすっかり慣れて毎日楽しい笑い声が響きわたっています！

新しい玄関

暖房便座付きの幼児用トイレ！

楽しい活動を満喫♥

5/24(金)遠足で八木山動物園へ行きました！

放課後等デイサービス　くるみ

４月から活動場所が本棟からこのみ棟へ（以前のわのみ棟）変わりました。それまでは宿泊する利用者も一緒の活動をしていたため、大きい集団になってしまっていましたが、「着替え」や「はじまりの会」や「おやつ」などは、分かれて行い少人数で対応ができるようになりました。環境の変化に初めは戸惑う子もいましたが、徐々に慣れてきている状況です。

日々の活動はデイ・ショートをグループ化し、様々な公園や公共施設への外出活動や、様々なものを作る製作活動、おやつを作って食べるクッキング活動、そして、おやつを自分たちで買って食べる買い物体験などの社会体験活動を行っていきます。また、学校の長期休み期間は利用時間も長くなるため、遠出の外出やカラオケなど普段できない活動を取り入れていきたいと思っています。

生活介護 わのみ

今年の「生活介護 わのみ」も笑顔が多く、楽しい日中を過ごせるよう、ご利用者にあった過ごし方を模索しながら取り組んでいます。

４月からのご利用者増加に伴い、「生活介護 わのみ」の頭文字をとって、わかば・のばら・みずき　の３グループに分かれて活動を行っています。「わかばグループ」では外部企業からの委託業務や、駐車場清掃、空き缶つぶしなど、「のばらグループ」は園芸活動やビーズ製品の作成、ウエス作り、わのみ内の清掃活動など、「みずきグループ」はストレッチ・運動、音楽活動、余暇活動というように、各グループで活動を行っています。

「のばら」園芸活動風景

全体外出行事では、４月はお花見、５月はサファリパークへ行ってきました。

４月のお花見では、モリリン加瀬沼公園へお菓子と飲み物を持って出かけました。天候にも恵まれ、花より団子！？(-_-;)とても気持ちの良いお花見外出となりました。

５月には岩手県一関市にあるサファリパークへ行ってきました。シマウマカラーの大型バスに乗ってパーク内を一周、ライオンやキリン、あのディズニー映画「美女と野獣」の野獣のモデルにもなったというバイソンなど、大型動物を間近に見ることができました。途中、直接エサを与えられる機会もあり、ご利用者や職員もビクビクヽ(；゜д゜)ノ、でもとても充実した時間を過ごすことができました。怖がるご利用者、平気で手を差し出すご利用者、ワイワイ盛り上がりました。

今後もご利用者の意見をお聞きしながら、四季に応じた外出やイベントを企画していきます。

ショートステイ

さわおとの森では、宿泊をするショートステイ事業もしております。

他のサービス事業では大人と子どもで分かれていますが、ここでは大人も子どもも一緒に 10 名程の人が泊まっています。

大人の方は他の作業所等終了後にさわおとの森でゆっくり過ごされたり、子どもたちは宿泊訓練を兼ねてお泊りしている人もいます。

みんなでご飯を食べ、土・日は一緒に活動をしたりもします。年長者が下の子の面倒を見てくれたり、お手伝いをしてくれる子もいて楽しくお泊りしています。

塩竈市ひまわり園

昨年４月に児童デイサービスが、未就学対象の児童発達支援と就学対象の放課後等デイサービスに変わるなど、めまぐるしく施策が変わる中、ひまわり園では保護者の皆様と連携を深めながら、ご利用者様に安全、安心かつ明るい雰囲気の中でサービスを提供していきたいと思います。今年度は公用車が２台となり未就学児、学童児ご利用の皆様にも送迎サービスが充実し定期的にご利用いただいております。板橋前園長の跡を継いで、この４月より新体制でスタートしましたが、今後もご利用様、ご家族の皆様の心に寄り添い過ごしやすい環境、そして安心して預けていただけるよう職員一同努力いたしますのでご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

～ ひまわり園　園長　伊丹 正美 ～

板橋園長先生　お疲れさまでした

平成 20 年１０月よりひまわり園の園長として勤務されてきた板橋敏子先生が今年 3 月末をもって、退職されました。子どもたちから職員たちまでみんなに好かれる園長先生でした。

４月からは後任の伊丹新園長に任せ、当法人監事として見守っていてくれます。

児童発達支援事業

ひまわり園は、明るく元気な職員が沢山いる施設です。子どもたちもとても明るく最近では、友だちを意識して真似してみたり、時には同じ玩具を使いたくなりケンカをすることも…。そんな時は、職員が声をかけながら関わりについて伝えています。関わりはとても大事ですよね！！これからもあそびを通して関わりはもちろんのこと様々なことを子どもたちが経験できるように職員一同持ち前の明るさで頑張りたいと思います。

放課後等デイサービス

ひまわり園の放課後等デイサービスでは、主に塩竈市とその周辺市町の方にご利用頂いております。小学１年生から高校３年生までの方のご利用となり、その集団活動の中でも、年齢や一人ひとりに合った活動を目標にしています。活動は、外出活動や制作活動、クッキングなどがありますが、特に外出活動では、地域の公共施設等（お買い物体験、公園、塩竈神社、マリンゲート塩竈など）に出かけ、住んでいる地域の中での体験を意識しております。ひまわり園に行ったらこれをしたい！ここに行きたい！ここでゆったりしたいな～と、楽しみに来て頂き、楽しい中で様々な体験をして行きたいと思っております。